2021 4

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2021 5

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

2021 6

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2021 7

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2021 8

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

オープンキャンパス（オンライン）

2021 9

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2021 10

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

総合型選抜出願期間（10/25～11/5）

2021 11

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

学校推薦型選抜出願期間（11/1～11/12）
23: 総合型選抜（第1次選抜）

2021 12

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2022 1

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15 大学入学共通テスト
16 大学入学共通テスト	17	18	19	20	21	22 学校推薦型選抜（第2次選抜）
23/30	24/31	25	26	27	28	29

国公立大学出願期間（1/24～2/4）

2022 2

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

国公立大学出願期間（1/24～2/4）
25–26: 一般選抜（前期日程）

2022 3

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

発行日　2021年6月1日
企画編集：九州大学歯学部 広報委員会広報誌担当
築山　能大、 和田　裕子、 井上　良介、 緒方　謙一

九州大学歯学部についてのさらに詳しい情報は、ホームページをご覧ください。
URL: http://www.dent.kyushu-u.ac.jp/

九州大学医系学部等学務課歯学学生係
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1　TEL092-642-6261　FAX092-642-6263

受験生のための
九州大学歯学部　2021

九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

Kyushu University
Faculty of Dental Science

「口腔の健康から全身の健康に貢献する」を実践できる歯科医師のリーダーを目指しませんか!

九州大学歯学部長　中村 誠司（福岡県立筑紫丘高等学校卒）

皆さんは歯科医療についてどのようなイメージを持っていますか？ほとんどは近所の歯医者さんのイメージではないでしょうか。確かに、多くの歯科医師が診療所（クリニック）を開業し、そのような臨床歯科医が地域歯科医療の最前線であることは間違いありません。ただし、歯科医師としての人生は地域歯科医療に貢献するという道程だけではありません。優秀な人材を育成する教育者・指導者、新しい歯科医療の道を切り開く研究者、国や地域の医療を牽引する行政など、歯科医療の世界はとても広いのです。必ず、皆さんの得意なことや特徴を活かした進路が見つかり、希望を叶えることができると思います。

歯科医療はパラダイムシフト、つまり大きな変革をすべき時期を迎えています。ご存知のように、この半世紀の間に日本は超高齢社会の世界的なトップランナーになり、人生100年時代構想も謳われています。従来の歯科医療はう蝕と歯周病の治療が主体でしたが、高齢者においては口腔機能の維持がより重要になり、歯科医療には大きなパラダイムシフトが求められているのです。また、口腔の健康が全身の健康に密接に関わっていることが判り、歯科医療が国民の健康寿命の延伸に貢献できると大いに期待されています。さらに、社会の高齢化とともに訪問診療の需要も増え、歯科医療が地域包括医療の一端を担うことも求められています。昨今はマスコミなどで歯科医師数が過剰であると報道されていましたが、今後は歯科治療の重要性や需要が増すにつれて、むしろ歯科医師は不足し、多くの優秀な人材が求められることになると思います。社会に求められている仕事をすることはやり甲斐がありますし、充実した達成感のある人生を歩むことに繋がります。次世代を担う皆さんの力があれば、歯科医療の未来はさらに強く輝くものになりますし、その結果、もちろん、皆さんの人生も輝かしいものになると思います。

九州大学歯学部は、「口腔の健康から全身の健康に貢献する（Overall Well-being through Oral Health）」を理念に掲げ、教育・研究・診療を行っています。もちろん、歯科医師になるためには歯科医師国家試験に合格する必要がありますので、本学部で行われる教育もこの目的に沿って行われています。しかし、本学部の教育はそこに留まらず、歯科医療や歯科医学、さらには幅広く生命科学の教育・研究におけるリーダーとして国内外で活躍でき、高い専門性と国際性を有した人材の育成を目指しています。全教員がこの目標を達成するために皆さんの教育に全力であたり、充実した学びの場と機会を提供しますが、何よりも皆さん自身の弛まない努力も必要です。探求心やチャレンジ精神が旺盛で、高い志を持った皆さんの入学を心待ちにしています。大学は皆さんの輝かしい未来の礎を築く場所です。皆さんが羽ばたく方向は無限に拡がっていますので、卒業後は広く、そして大きく羽ばたいて欲しいと願っています。

ご存知のように、昨年からの世界的なコロナ禍で未曾有の事態となっています。大学における診療はもちろんのこと、教育や研究面でも多大な影響を受けています。特に、学部教育では対面授業が密な状況になってしまうこともあり、オンライン授業を余儀なくされています。九州大学では8年前から全学生を対象としたPC必携化を実施していることもあり、オンライン授業も早期に開始することができました。ただし、オンライン授業の問題点も多々ありますので、皆さんにとってより充実した教育ができるよう、Post ＆ Beyondコロナに適した新たな授業形態の確立に取り組んでいるところです。

最後になりますが、学生の本分は学びであることは間違いありません。ただし、大学生活では幅広く豊かな人間性や社会性を身に付けることも学びの一つです。本学では多くの友人、先輩、後輩、そして師と巡り合うことになると思いますが、課外活動にも積極的に参加して欲しいと思います。課外活動は全学のサークルにも参加できますが、本学部の中にも多くの体育系や文科系のサークルがあります。毎年、全日本歯科学生体育大会（歯学体）という全国大会などもありますので、経験の有無に関わらず、好きなことにチャレンジしてみてはどうでしょうか？さらに視野を広げ、アルバイトなどを通して社会と十分に触れ合うことも大切です。よく学び、よく遊べる、充実した大学生活が待っていますので、ぜひ本学部への進学を目指して受験勉強を頑張ってください。

INDEX
目次

歯学部長挨拶 …… 1
入学するまで …… 3
伊都キャンパス時代 …… 5
病院キャンパス時代－学業編 …… 7
病院キャンパス時代－卒業後 …… 11
研究室紹介 …… 13
OBT研究センター紹介 …… 17
講座紹介 …… 19
社会活動 …… 20
国際交流 …… 21
歯学部サークル紹介 …… 23
同窓会 …… 24

九州大学歯学部に入学するまで

九大歯学部にはどんな学生が求められているのでしょうか。

九州大学歯学部は高度職能人としての歯科医師を養成することはもちろんですが、歯科医療や歯科医学の教育・研究におけるリーダーとして国内外で活躍できる優れた人材を育成することを教育理念に掲げています。

歯学部では学力に優れている事はもちろんのこと、九州大学教育憲章に基づく秀でた人間性、社会性、国際性を有し、また医療福祉の面から奉仕精神や倫理観に富む人材を求めています。当学部を希望する受験生の皆さんには以上のような歯学部の基本理念に沿った明確な目的意識を持っていただくよう希望します。

そのために入学試験では多様な価値観をもった幅広い人材が選抜できるよう、学力を主たる判断基準とした前期日程個別学力検査に加え、優れた学力と共に歯科医療に対する使命感、探究心、創造性、論理的思考力、生命体への関心と深い愛情などの資質をも選抜評価基準に採用した総合評価方式による総合型選抜と学校推薦型選抜を令和4年度入試から実施します。

各選抜方法による募集人員

総合型選抜　：　8名
学校推薦型選抜　：　8名
一般選抜（前期日程）：37名

●入試倍率（令和3年度）

総合型選抜　5.4倍
前期日程　　3.1倍

学生選抜のタイムテーブル（令和4年度入学者）

総合型選抜・学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）
出願期間：総合型選抜　１０月２５日～１１月５日
　　　　：学校推薦型選抜　１１月１日～１１月１２日

総合型選抜
第1次選抜：１１月２３日に開催する歯学部講義に対するレポートの評価、書類選考との総合評価
第2次選抜：大学入学共通テストの成績

学校推薦型選抜
第1次選抜：書類選考
第2次選抜：１月２２日面接、大学入学共通テストの成績

一般選抜（前期日程）（大学入学共通テストを課す）
出願期間：１月２４日～２月４日
試験：２月２５～２６日

●歯学部入試科目（令和4年度入試）

学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等 試験の区分	国語	地歴及び公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計	英語のリスニングの利用
前期日程	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B，日B，地理B 現社，倫，政経， 「倫理，政治・経済」　から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿，情報から1 物，化，生から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外 面接	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B 物基・物, 化基・化, 生基・生から2 英(コⅠ・コⅡ・コⅢ・英表Ⅰ・英表Ⅱ), 独, 仏から1	大学入学共通テスト	100	50	100	100	100	－	－	450	利用する
					個別学力検査等	－	－	250	250	200	－	※	700	
					計	100	50	350	350	300	－	－	1,150	
総合型選抜			その他	**総合型選抜** 第1次選抜　講義に対するレポート、提出された書類による選考 第2次選抜　大学入学共通テストの成績	大学入学共通テスト 個別学力検査等	入学者選抜概要や九州大学HP（入試・入学）を参照								利用する
学校推薦型選抜				**学校推薦型選抜** 第1次選抜　提出された書類による選考 第2次選抜　面接、大学入学共通テストの成績										

※点数化せず段階評価

総合型選抜（旧：AO入試）合格者の声

歯学部1年生　仲野 万理香（大分県立大分上野丘高等学校）

私は今年、九州大学歯学部に総合型選抜入試で合格しました。

九州大学にこの入試制度があることを知り、それに向けて勉強を進めました。総合型選抜では自分のあり方を見つめ直し、また医療人としてのあり方を考えることが必要です。そのため、共通テストや2次試験との勉強の両立はとても大変になります。しかし、歯科医師としての倫理観や義務感を勉強を通して学ぶことが出来、より一層歯科医師への魅力を感じることが出来る機会となりました。

この試験では何よりしっかりとした自己を持ち「九州大学の歯学部へ進学したい」という意志をもち、望むことが大切です。良き歯科医師を目指して、共に学びましょう。ご入学を心よりおまちしています。

九州大学歯学部オープンキャンパスとサマースクール

九州大学歯学部が受験生に贈る最高のイベント サマースクール

サマースクールは歯学部を目指している高校生や受験生に「歯学の広がり」を知ってもらうための企画です。受験勉強の合間に「九州大学歯学部」を体験してみませんか？　一昨年は**8月5日(月)**に開催されましたが、昨年はオンラインでオープンキャンパスを行いました。今年もオンラインで行います。

詳細は歯学部ホームページ URL: http://www.dent.kyushu-u.ac.jp/ をご覧ください。

九州大学歯学部に入学すると、君を待っているのは・・・

伊都キャンパス時代

歯科医療や歯学の教育・研究において国内外でリーダーとして活躍できる人材育成を目指します！

歯学部学務委員長　築山能大
（歯学研究院歯科医学教育学分野教授、福岡県立筑紫丘高等学校卒）

九州大学歯学部の教育理念は、歯科医療や歯学の教育・研究において国内外でリーダーとして活躍できるための高い倫理観、豊かな人間性、卓越した専門性、ならびに幅広い国際性を備えた人材を育成することです。本理念のもと、自然科学、人文科学、基礎医学、歯科基礎医学、臨床歯学に加えて、医療系統合教育や一般医学教育も含め、次世代の歯科医師・歯学研究者に求められる資質である「口腔から全身の健康に貢献できる能力」を育てるための多彩なカリキュラムを提供しています。さらに本学カリキュラムでは能動学習（アクティブ・ラーニング）により生涯自己研修能力を育む総合科目を設定して、高度な専門知識と臨床技能を恒久的に維持・発展させることができる歯科医師・歯学研究者育成を目指しています。

例えば、歯学オリエンテーション（九重研修）やアーリーエクスポージャでは、ワークショップ・グループ学習、大学病院の見学、研究室での研究入門等を通じて、歯科医療、歯学研究・生命科学研究についていち早く学び、考え、仲間とディスカッションし、さらに、歯科医療や生命科学研究の現場を体験することで、自身の将来像を形成することを目指します。歯学専門教育においては、最先端の情報に触れ、物事を深く掘り下げて学習し、講義だけでなく実習を通じて、歯科医師に必要な知識・技能・態度を磨きます。また、基幹教育で培った能動学習の素養をさらに伸ばし、知識を統合して課題解決する能力を伸ばすために、問題解決型学習（Problem-Based Learning）やチーム基盤型学習法（Team-Based Learning）などの課題解決型授業を展開しています。このように、九州大学歯学部では多彩な教育手法を駆使して、社会の多様なニーズに対応できる歯科医師、歯学研究・生命科学研究者を育てるとともに、歯科医療や歯学の教育・研究において国内外でリーダーとして活躍できる人材の育成を目指しています。

皆さんも、歯科界を牽引するリーダーとなるべく、九州大学歯学部で学んでみませんか。

●令和3年度 歯学部入学者出身高校

高校名	人数	高校所在地（都道府県）	高校名	人数	高校所在地（都道府県）
東筑	3	福岡	那覇	1	沖縄
愛光	3	愛媛	徳山	1	山口
福岡大学附属大濠	2	福岡	新田青雲	1	愛媛
佐賀西	2	佐賀	徳島文理	1	徳島
青雲	2	佐賀	土佐	1	高知
大分上野丘	2	大分	雲雀丘学園	1	兵庫
九州産業大学付属九州	1	福岡	淳心学院	1	兵庫
九州産業大学付属九州産業	1	福岡	白陵	1	兵庫
修猷館	1	福岡	宝塚北	1	兵庫
福岡工業大学附属城東	1	福岡	高槻	1	大阪
明治学園	1	福岡	清風南海	1	大阪
明善	1	福岡	帝塚山	1	大阪
佐伯鶴城	1	大分	西大和学園	1	奈良
熊本	1	熊本	四日市	1	三重
済々黌	1	熊本	岡崎	1	愛知
佐原	1	宮崎	東海	1	愛知
延岡	1	宮崎	南山	1	愛知
宮崎西	1	宮崎	豊田西	1	愛知
都城泉ケ丘	1	宮崎	名古屋	1	愛知
ラ・サール	1	鹿児島	名古屋西	1	愛知
沖縄尚学	1	沖縄	仁愛女子	1	福井
昭和薬科大学附属	1	沖縄	合計	51	

基幹教育科目

【基幹教育科目】

1. 基幹教育セミナー
   基幹教育セミナー

2. 課題協学科目
   課題協学科目

3. 言語文化科目
   第1外国語（英語）、第2外国語

4. 文系ディシプリン科目
   - ●必修科目
     心理学入門
   - ●選択必修科目
     哲学・思想入門、先史学入門、歴史学入門、文学・言語学入門、芸術学入門、文化人類学入門、地理学入門、社会学入門、現代教育学入門、教育基礎学入門、法学入門、政治学入門、経済学入門、経済史入門、The Law and politics of International Society

5. 理系ディシプリン科目
   - ●必修科目
     入門微分積分Ⅰ・Ⅱ、入門線形代数Ⅰ・Ⅱ、数理統計学、無機物質化学Ⅰ・Ⅱ、有機物質化学Ⅰ・Ⅱ、自然科学総合実験
   - ●選択必修科目
     力学基礎、力学概論、電磁気学基礎、電磁気学概論、熱力学基礎、熱力学概論、細胞生物学、生物学概論

6. サイバーセキュリティ科目
   サイバーセキュリティ基礎論

7. 健康・スポーツ科目
   健康・スポーツ科学演習

8. 総合科目
   アカデミック・フロンティアⅠ・Ⅱ

【専攻教育科目】

歯学オリエンテーション、歯学概論

【2年次以降の基幹教育科目】

高年次基幹教育科目
インフォームド・コンセント、薬害、臨床倫理、漢方医薬学

歯学オリエンテーション

1年生は入学後、九重共同研修所にて研修を行います。（昨年はコロナ禍のため6月5日にオンラインで実施しました。）

伊都キャンパスってどんなところ？

平成21年4月に旧六本松キャンパスは伊都キャンパス（通称 伊都キャン）として福岡市の西部元岡へと完全移転しました。伊都キャンパスは福岡市の中心部天神からバスで約55分のところにあり、敷地面積約245haの広大なキャンパスです。

歯学部の1年生は1年間ここで過ごすことになります。

カフェテリア 『Qasis』

広々とした構内

九州大学中央図書館

椎木講堂

センター1号館（センターゾーン）

くつろぎのひととき

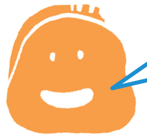
Schedule ［第1学年］ 伊都キャンパス

4月上旬 入学式 → 前期授業開始 → 7月下旬 前期定期試験 → 8月上旬 夏休み → 10月上旬 後期授業開始 → 11月下旬 九大祭 → 12月下旬～1月上旬 冬休み → 授業 → 1月下旬～2月 後期定期試験 → 春休み

Schedule ［第2学年］ 病院キャンパス

4月上旬 前期授業開始 → 7月下旬 夏休み → 9月上旬 前期定期試験 → 10月上旬 後期授業開始 → 11月下旬 九大祭 → 12月下旬～1月上旬 冬休み → 授業 → 1月下旬～2月 後期定期試験 → 春休み

いよいよ 病院キャンパス時代 — 学業編



九州大学歯学部の教育理念！

（1）歯学部教育の基本である優れた歯科医師の養成
（2）国内外において活躍する歯科医療・歯科医学における教育・研究リーダーの育成

病院キャンパスのシンボル「神の手」

病院内を少し探検。

病院外観

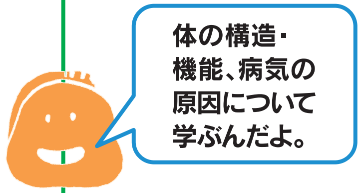
開放感ある通路

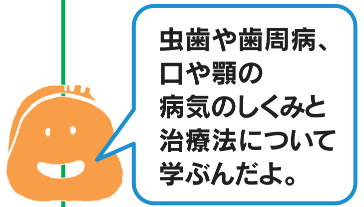
活気のある診療室

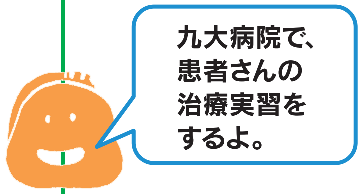
歯学部では、どんなことを学ぶのだろう？

九州大学歯学部の学科課程表（令和3年度）

学科目	授業科目
1年次：歯科医学総論	歯学オリエンテーション、歯学概論1・2・3・4
2年次：歯科医学総論	歯学総論1、歯学総論2
口腔基礎常態学	解剖学1・2、解剖学実習1・2、口腔解剖学1・2・3・4、口腔組織学1・2・3、発生学、口腔生理学1・2・3・4、生化学・口腔生化学1・2・3・4
口腔基礎病態学	口腔微生物学
3年次：歯科医学総論	歯学総論3
口腔基礎病態学	病理学1・2・3、口腔病理学1・2、薬理学1・2・3、臨床歯科薬理学、歯科理工学
口腔保健学	小児歯科学1・2・3・4
臨床歯学	歯冠補綴架工義歯学、口腔画像診断学1
関連科目	病態制御学
4年次：歯科医学総論	歯学総論4、アーリーエクスポージャ、リサーチエクスポージャ1・2・3
口腔保健学	口腔保健学、環境衛生学、障害者歯科学1・2、歯科矯正診断学、歯科矯正診断学実習、歯科矯正治療学、歯科矯正治療学実習
臨床歯学	医療行動科学1・2・3、歯科保存学1・2・3、歯周病学1、口腔インプラント学、全部床義歯補綴学総論、全部床義歯補綴学各論、部分床義歯補綴学、顎口腔外科学、口腔画像診断学2、歯科麻酔学1・2、歯科全身管理学1・2、高齢者歯科学
医療系統合教育科目	漢方医薬学、インフォームド・コンセント、薬害、臨床倫理、地域包括ケアシステム
5年次：歯科医学総論	歯学総論5、リサーチエクスポージャ4
臨床歯学	歯周病学2・3、顎顔面形成外科学、口腔感染・炎症治療学、口腔腫瘍外科学、歯科臨床予備実習
関連科目	歯科法医学、人類遺伝学
6年次：歯科医学総論	歯学総論6、歯学総論7、統合歯学、プレリサーチ
臨床歯学	歯科臨床実習

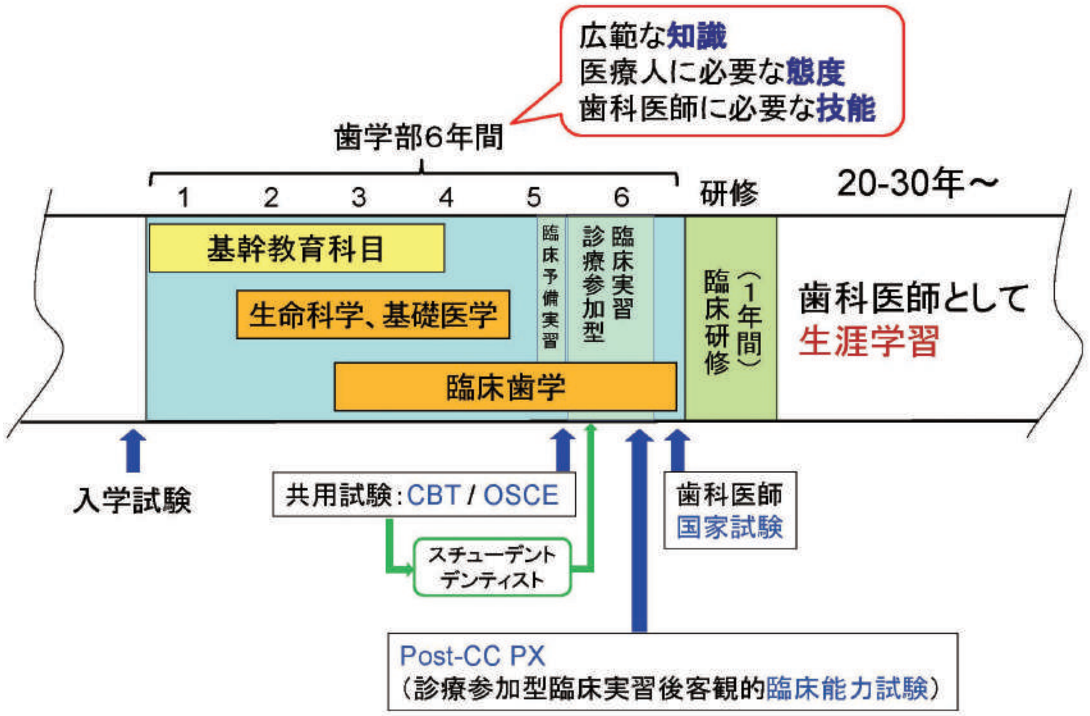






※これまで通年・2学期制であった多くの科目を、学修しやすくなるよう、クォーター（4学期制）科目に改編しました。
実施時期や学修目標については、歯学部ホームページに掲載予定の令和3年度版カリキュラムマップをご覧ください。

九州大学歯学部の学修マップ ［概要］



学修マップ（上図）の解説

1年次は、伊都キャンパスで基幹教育科目を履修します。基幹教育では、人文系、理数系、言語文化系科目ほかで高い教養を身につけるとともに、基幹教育セミナーや課題協学科目等を通じて能動的学習を行います。週に1度だけですが、歯学部専攻科目「歯学概論」があり、歯学部教員が週替わりで各分野の研究、教育、臨床のトピックを紹介します。

2年次からは、病院キャンパスで学びます。解剖学、生理学、生化学などの生命科学、基礎医学の科目に始まり、3年次からは徐々に臨床歯学の科目が実施されます。授業は講義だけでなく実習も多く実施されます。基幹教育は高年次基幹教育科目として2～4次にも一部実施されますが、4年次には、医学部、保健学科、薬学部と合同で医療系統合教育科目が実施されます。そのうち「インフォームドコンセント」では、模擬患者さんにご協力いただき、多職種連携で説明と同意取得を行う実践的な実習も行います。このほかに、4・5年次には、リサーチエクスポージャで各研究分野に配属され、研究も体験します。

5年次には、臨床実習に進む前の全国共通の試験である共用試験CBT・OSCEが実施されます。CBT（Computer Based Testing）はコンピュータを用いた「知識」に関する客観試験で、OSCE（Objective Structured Clinical Examination）は基本的臨床「技能」と「態度」を評価する試験です。この両方に合格すると「スチューデント デンティスト」として認定され、いよいよ診療参加型臨床実習に進みます。診療参加型臨床実習では、実際に患者さんの治療実習も行います（写真参照）。実習の最後には「診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（Post -Clinical Clerkship Performance Examination：Post-CC PX）」と呼ばれる実技試験を行い、それまでに身につけた基本的な臨床能力を評価します。そして最後に、歯科医師国家試験を受験します。このように、歯学部では、広範な知識に加えて、医療人に必要な態度、歯科医師に必要な基本的臨床能力を身につけた上で卒業することが求められます。

歯学部卒業後は、1年間の歯科医師臨床研修、そしてその後は、研究、臨床、教育、行政などの様々な方面に進みますが、いずれの場合でも歯科医師として生涯学習が求められます。

歯学部ならではの実践的実習「歯科臨床実習」：
スチューデント デンティストとして、実際の患者さんを対象に治療実習を行います。
※患者さんのプライバシー保護のため、スタッフが患者役をしています。

病院キャンパス時代 — 学業編

学生からのメッセージ

九大歯学部での充実した6年間

歯学部5年生　西並秋葉（福岡県立筑紫丘高等学校卒）

　歯学部に入ったらどんなことを勉強するんだろう？6年間どのように過ごすのだろう？と疑問に思っている方も少なくないと思います。学生生活の中でとても大切な学業について、学生の目線からお伝えし、少しでも皆さんの大学生活の想像を膨らませる手助けになればいいなと思います。

ピエールフォシャールアカデミー（PFA）優秀学生賞受賞

　まず、授業についてですが、1年生では伊都キャンパスで主に学びます。数学や理科、英語の授業もありますが、文学や科学、芸術など様々な分野の授業を受けることができます。他の学部の学生と一緒になる授業も多く、他学部の友人ができたのもすごく良かったなと思っています。私は留学生との異文化交流の授業が特に印象に残っていて、色々な学部があり、多くの留学生を受け入れている九州大学ならではなのではないかと思います。2年生からは病院キャンパスでの授業となり、専門の学習が始まります。2年生では体の構造・機能、病気の原因など土台となる内容を学んでいきます。3年生からは虫歯や歯周病、口や顎の病気の仕組みと治療法など、より臨床的な内容になってきます。最初は知らないことがたくさんで、新たな知識を理解し身につけるのは大変です。たくさん勉強をして試験に合格しなくてはならず、めげそうになることもありますが、今勉強していることは歯科医師になって絶対何かしらの形で役に立つと信じて取り組んでいます。5年生からいよいよ九州大学病院での治療実習が始まります。実際に患者さんの診察に参加させていただくことで、それまでに勉強してきた知識も深まっていきますし、どんな風に治療しているのかも学ぶことができます。6年生では卒業試験と国家試験があり、合格すると晴れて歯科医師になることができます。大変そうだなと感じた方もいるかもしれませんが、素晴らしい同級生・先生方もいますし、目標に向かって頑張れば乗り越えられると思います！私も5年生なのでまだまだ努力しようと思っています。

　さて、勉強が大変だから、留学とかはできないのかなあと思っている方もいるかもしれません。答えはNOです。実際に私は、夏休みや春休みに大学のプログラムなどを利用して、4年生までに中国・韓国・マレーシア・カナダへ行きました。勉強を頑張ったおかげで、歯学部から奨学金をいただくことができ、バンクーバーでの3週間のプログラムに参加させていただきました。歯科医師になるにあたって、幅広い視野や価値観は大切だと考えていて、海外での経験は有意義であったと感じています。

　歯学部での6年間は、自分次第で可能性は無限大で、とても楽しく充実したあっという間の時間だと思います。九州大学歯学部は皆さんの充実した学生生活を実現できる場所だと思います。

学生からのメッセージ

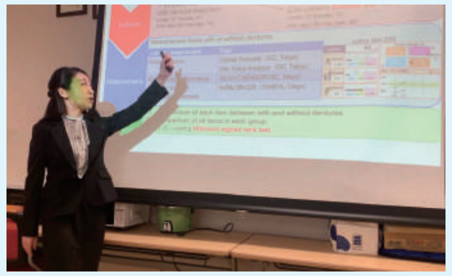
未知への「挑戦」～力強い応援からできること～

歯学部5年生　高本侑立子（横浜雙葉高等学校卒）

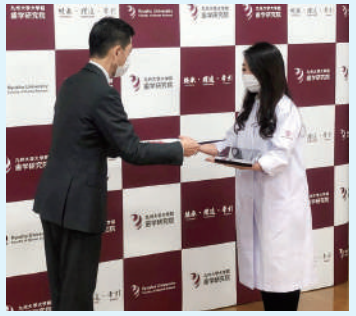
　昨今、「コロナで行き詰まる大学授業」などという言葉を耳にし、実際大学に通う意義を唱える学生も少なくありません。しかし、そのような渦中でも諦めずに挑戦することはできます。九州大学はそのような学生に対する「挑戦」を応援し、最適な環境を与えてくれる大学だと思います。

スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム（SCRP）準優勝

　九州大学では、学生のうちから研究に携わることができます。先日私は授業の一環として行った研究をもとに、九州大学代表としてＳＣＲＰに出場し、受賞致しました（臨床部門優勝、総合準優勝）。ＳＣＲＰとは、Student Clinician Research Programの略で、各歯科大学から代表一人が出場し、歯学部学生による研究成果の発表・実演を行う大会です。昨年3月の緊急事態宣言発令により、授業や実習のみならず、研究も中断を余儀なくされました。九州大学代表として選出されましたが、収束の目処が立たない状況で、発表の準備が万全に整うのか、そもそも開催できないのではないかという不安もありましたが、例年とは異なるオンラインという形で、無事に発表ができました。今回は辞退した大学もあったそうですが、このように出場できたのも先生方のご尽力のおかげです。また、zoomやメール等でのやり取り、プレゼン時のポイントや、私の長所を生かした上でのご指導のもと、心配だった発表準備も無事に整えられました。発表とコロナで延期となった試験が重なってしまいましたが、そのような手厚いご指導の結果、無事に受賞にまで至ることができました。休日や夜中にまで作業が及んでしまい、ご指導いただいた先生に「申し訳ない」ということをお伝えしたところ、先生から「『このＳＣＲＰに出場して頑張ってみたい。』と高本さんが言っていたから先生たちも協力するし、応援しているんだよ。」と言って下さいました。このように九州大学では、先生方が学生一人ひとりの「挑戦」を応援してくれる大学です。



　私の祖父は2年前、転倒により頸椎を損傷して左半身不随となり、二度と自宅に戻ることはなくなりました。高齢者の日常生活における事故で最も多いのは「転倒」です。私の研究テーマは、「欠損補綴治療による起立運動機能への影響」というもので、高齢者が毎日使用する入れ歯と、転倒に関わる運動機能の関連性を示し、転倒のリスクを防げることはできないのか、というものでした。このように、普段身近に感じる歯科は全身の健康へつながる分野だということを再認識し、超高齢社会やコロナ、様々な問題を抱える今だからこそ重要な分野ではないかと思います。



　進路に悩む受験生も沢山いらっしゃると思いますが、コロナ禍という厳しい状況でも、大学生なりに「挑戦」はできると思います。しかしそれは、一人ではできません。良い仲間、素晴らしい指導者である先生、各学生の個性を伸ばしてくれる教育などといった、様々な要素が揃った環境で初めて「挑戦」が可能となります。その場所がここ、九州大学です。

　実家から遠い九州大学で学び、様々な経験や機会を与えて下さり、また賞まで頂けて本当に感謝しています。そのような九州大学に皆さんも入学して、自分の個性を見出し、他ではできない「挑戦」をしてみませんか？

学生からのメッセージ

目一杯楽しんで実りある学生生活を！

歯学部6年生　藤本龍史（愛光高等学校［愛媛県］卒）

　九州大学歯学部に興味をもたれた皆さん、はじめまして。私は、九州大学歯学部歯学科6年の藤本龍史と申します。私は現在、口腔病理学教室で清島保教授、藤井慎介講師の指導のもと研究活動を行っています。幸いなことに研究内容を学会で発表させていただく機会を得ることもできました。皆さんは大学に入ってどのように過ごされる予定でしょうか。遊び尽くす、勉強に打ち込む、部活動・サークルやアルバイトに熱中するのもいいと思います。さて研究活動はどうでしょう。少し敷居が高いもののように思われるかもしれません。私は学部2年生の頃から細胞内のシグナル伝達に興味を持ち、研究のやり方を知ろうと大学内の色々な場所を2年ほど彷徨いました。そして4年生の時から、口腔病理学教室で放課後を利用して研究活動を行うようになりました。現在は唾液腺と悪性腫瘍をテーマとして研究を行っています。現在6年生ですが、5回学会発表を行い、今回はJoseph lister awardという賞も受賞することができました。課外活動を通じて研究の流れ、考え方、発表の経験など色々なことを学べたと思います。ここでは研究について述べましたが、学生が熱意と誠意を持ち合わせていれば、九州大学の先生はどの学生にも学部の垣根を超えて協力してくださいます。

JADR Joseph Liste Award 受賞（第一位）

　自分の経験にはなりますが、起業したい場合は起業部やアントレプレナーシップセンターでのビジネスプランコンテストでの発表、自分から起業訪問を行い開発の現場を知ったり、NPO法人での歯科啓蒙活動、世界中の学生が集まり社会問題について議論するUSLSへの参加、海外提携校の訪問、部活動では日本歯科学生体育大会（通称デンタル）への参加、アルバイトやサークルなどやれることはたくさんあります。もちろん同期との飲み会や海外旅行なども欠かせません。

　大学に入学されると、ここには書ききれないほど様々な機会があります。総合大学としてのメリットを活かせます。歯学部だからといって歯科だけの枠に行動が制限されることはありません。したいことを追求できる環境があります。九州大学歯学部に入学された際には、歯科の勉強だけでなく色々なことを学び歯科医療界のリーダーになっていただきたいと思います。皆様のご入学をお待ちしております。

病院キャンパス時代 — 卒業後

研究中の大学院生からのメッセージ

「大学院への進学」

九州大学歯学研究院　歯周病学分野　助教
四本 かれん（鹿児島県立鶴丸高等学校卒）

九州大学歯学部に興味のある皆さん、こんにちは。九州大学歯周病学分野の四本と申します。歯学部卒業後の進路についてお伝えしようと思います。勤務医として歯科医院に務める以外に、わたしのように大学院で博士号を取得してから臨床の場に戻る道があります。今回、私の大学院での生活を紹介させていただきたいと思います。将来、歯学部を卒業し進路に迷われた際に参考にしていただければ幸いです。

九州大学の大学院には、様々な研究分野があり、いずれも世界最先端の研究が行われています。大学院の基本理念は、学部教育で学んだ素養をさらに伸ばし、課題解決能力を向上させ、口腔から全身の健康に貢献できる歯科医師、歯科学研究者はもとより幅広く生命科学研究者を育成することにあります。私は、九州大学歯学部卒業後、九州大学病院で1年間臨床研修を行い、歯周病研究に強い興味と関心を持ち、大学院へと進学しました。大学院の4年間「歯周組織再生」をテーマに研究してきました。研究する中で生じた問題点に対して自分自身で解決する力や、それに向け論理的思考力を養うことができました。

九州大学大学院の魅力のひとつとして、国内や海外の学会に参加する機会が多くあり、学会参加に対する支援が充実していることが挙げられます。新型コロナウイルスの流行により行くことができませんでしたが、私は九州大学海外留学支援事業に採用され、アメリカである学会に行く予定でした。九州大学歯学府では、3年生の途中に研究成果を発表する中間発表の制度があり、そこで賞を受賞すると、国際学会発表の支援を得ることができます。これは九州大学歯学部が創立50周年を迎えた際の記念事業で、多くの諸先輩方からいただいた寄付に基づいて成り立っています。日々の研究成果を海外で発表し、世界トップレベルの研究に触れることができる貴重な体験ができます。

研究や学会発表など大学院の4年間は、日々充実していました。大学院で得た知識は、これから歯科診療に携る上で研究と臨床の両面から貢献できると実感しています。皆さんも歯学部を卒業し進路に迷われた際には、ぜひ大学院へ進む道を考えてみてください。一緒に研究や診療ができる日を楽しみにしております。

中村教授(向かって左)、西村教授(向かって右)と JADR/GC 学術奨励賞受賞時の記念撮影

●進路（卒業後臨床研修先について）

令和３年３月卒業生の進路は以下の通りです。（4月１日現在）

九州大学病院	26名
その他の大学病院など	18名
その他	12名

●歯科医師国家試験合格率

	R3	R2	H31
九州大学	78.6%	79.6%	80.0%
全国平均	64.6%	65.6%	63.7%

臨床の前線で活躍する卒業生からのメッセージ

「歯科治療」と「再生研究」：新たな視点からの歯科医療への貢献

九州大学病院　歯内治療科　講師　友清　淳（奈良県立奈良高校卒）

学生の皆さん、九州大学歯学部に興味を持っていただきありがとうございます。さて、一つ問題です。子供の歯が抜けた後には、大人の歯が生えてきますが、大人の歯が抜けた後には、次の歯が生えてくるでしょうか？

もちろん、答えは「いいえ」ですね。

私は九州大学病院にて、「保存科」の一つである歯内治療科という診療科で、歯科医師として患者さんの治療に取り組んでいます。保存科とは、字の通りで「歯を抜かずに保存する」ことを目的として治療を行う専門科です。一昔前までは、むし歯や歯周病が進んでしまった歯は、抜くことが第一選択とされていました。しかしながら、時代が進むと共に、きちんとした治療を行えば歯は長持ちすることが明らかになってきたのです。歯内治療科では、高い専門性を生かし、抜く以外に治療法が無いと判断された歯に対しても、保存できるよう取り組んでいます。保存治療がうまく行き、患者さんから感謝の言葉を頂いた時は、歯科医冥利に尽きます。

さて、擦りむいた皮膚や折れた骨は再生して治癒しますが、なぜ大人の歯は再生して治癒（＝新しい歯が生えてくる）しないのでしょうか？詳しい理由はまだ解明されていませんが、「幹細胞」と呼ばれる細胞が、重要な役割を果たすことが明らかになりつつあります。山中伸弥先生が開発したiPS細胞も、日本語に訳すと「人工多能性幹細胞」ですね。私は、この幹細胞を使って歯を再生させる研究も進めており、治療だけでなく研究でも歯の保存に貢献できる方法を模索しています（上の写真は、私がオーストラリアの研究所でiPS細胞の研究をしていた時のものです）。

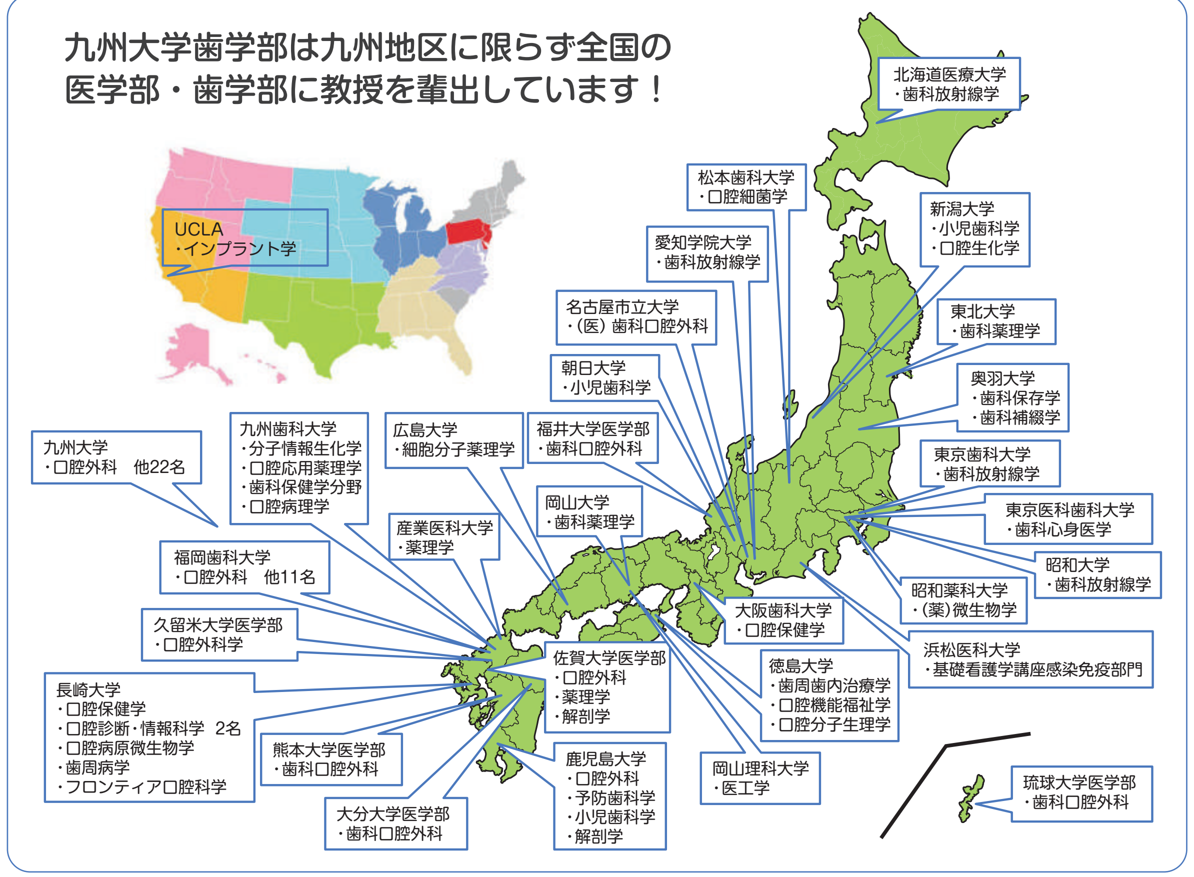
このように、歯科医師にも多様性が求められる時代になってきました。皆さんも、九州大学歯学部で治療、研究、国内、海外といった様々な題材や環境に挑戦してみませんか。皆さんとキャンパスでお会いできる日を楽しみにしております。

卒業後はどんな所で活躍しているのでしょうか？

九州大学歯学部はこれまでに、多くの優れた歯科医師を輩出してきました。

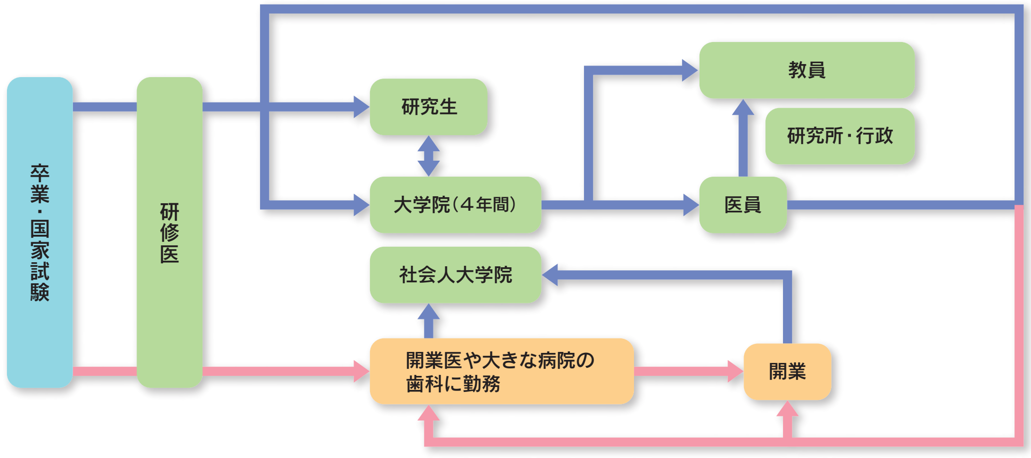
例えば、臨床の最前線で活躍し、地域医療のリーダーとして活躍している卒業生、歯科医学研究において、後輩に指導を行いながら世界で活躍している卒業生、他大学で歯学教育のリーダーとして活躍している卒業生など、さまざまな分野で活躍し社会に貢献しています。

また、九州大学歯学部は九州地区に限らず全国の医学部・歯学部に教授を輩出しています。



このような人材と設備の充実した九州大学歯学部で学び、グローバル社会で活躍できる歯科医師や研究者を目指しませんか。

卒後の進路については、おおよそ下の図の通りです。



注：この図がすべてのケースを網羅しているわけではありません。

研究室紹介

各研究分野では学生教育や診療を活発に行っているほか、
世界をリードする研究も精力的に進めています。

口腔常態制御学講座(5研究分野)

分子口腔解剖学分野
分野責任者：山座 孝義 教授

うちの自慢

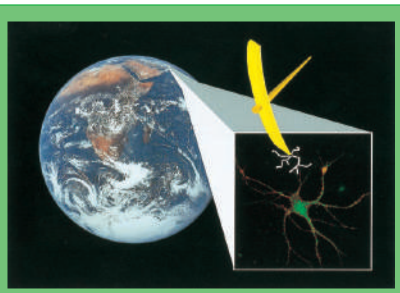
- 幹細胞による難病治療の開発を展開

親不知断ちて透かして眺むれば
浮かぶ顔惚けたりけり

口腔細胞工学分野
分野責任者：自見 英治郎 教授

うちの自慢

- ユニークな分子の発見・機能解明で世界をリード
- 骨由来ホルモンによるイノベーションで健康寿命の延伸に寄与

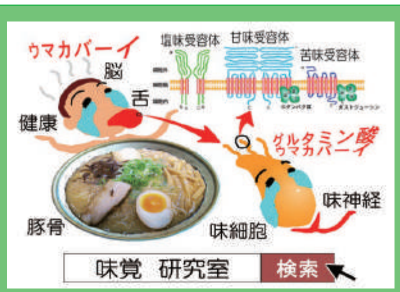


体＝細胞のしくみを極めよう、
世界を舞台に戦いながら。

口腔機能解析学分野
分野責任者：重村 憲徳 教授

うちの自慢

- 味覚情報の口腔-脳-腸連関を介した食調節機構の解明で世界をリード



美味しさって何だろう？
味覚の窓から身体の不思議な仕組みを見てみよう

口腔機能分子科学分野
分野責任者：兼松 隆 教授

うちの自慢

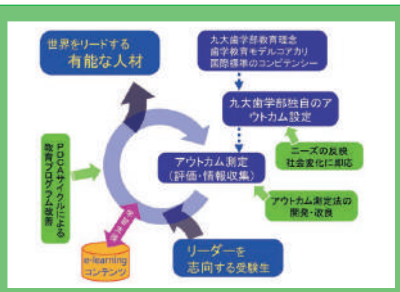
- 肥満制御のメカニズム解明と新薬の開発
- 細胞内のリソソーム酵素の機能解明・制御で生活の質の向上に貢献

みなさんも、口腔から健康寿命の延伸を目指す
「口腔ブレインサイエンティスト」になりませんか

歯科医学教育学分野
分野責任者：築山 能大 教授

うちの自慢

- 研究・臨床・教育のリーダーを養成するため、課題解決型の教育を展開
- 生涯学び続ける「アクティブラーナー」を養成



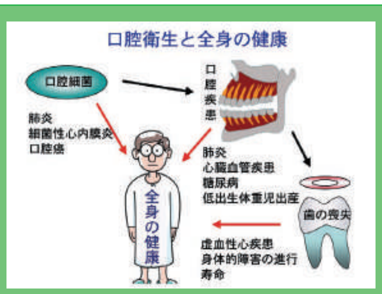
九大歯学部モデル
「アウトカムベース教育プログラム」の概念図

口腔保健推進学講座(3研究分野)

口腔予防医学分野
分野責任者：山下 喜久 教授

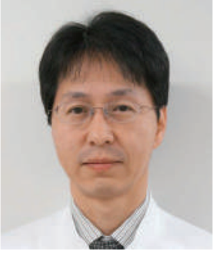
うちの自慢

- 疫学アプローチによる臨床歯科医学エビデンスの構築
- 口腔マイクロバイオームと健康の関連性究明の新展開



病は気から、健康は口から！
だから今予防歯科

小児口腔医学分野
分野責任者：福本 敏 教授



うちの自慢

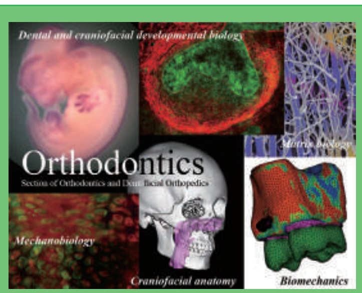
- 小児・障がい児(者)の口腔疾患の治療と予防研究で世界を牽引
- 口腔組織を利用した再生医学研究で世界をリード

健康な乳歯は美しい永久歯の源だよ。
健康長寿に貢献できる歯科医師を目指そう。

歯科矯正学分野
分野責任者：髙橋 一郎 教授

うちの自慢

- 不正咬合治療の未来を切り拓き、患者さんの健康と笑顔に貢献する研究で我が国をリード



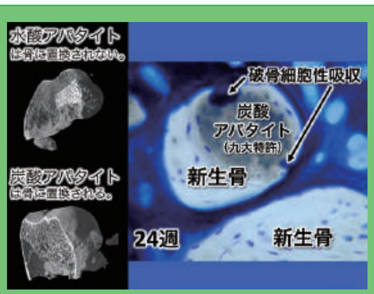
不正咬合の診断法や治療法を改善するために先端科学を応用し、
未来の患者さんの役に立つ研究を展開しています。

口腔機能修復学講座(5研究分野)

生体材料学分野
分野責任者：石川 邦夫 教授

うちの自慢

- 世界初、骨組成の炭酸アパタイト人工骨置換材の開発・実用化に成功
- 世界初、ポリエーテルエーテルケトンへの骨伝導性付与に成功
- 世界初、多孔体形成セメントの開発に成功

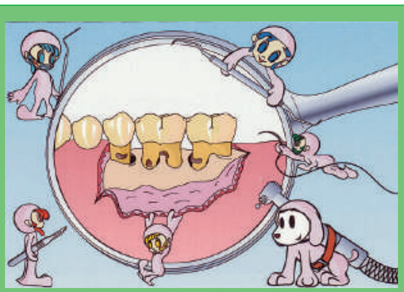


九州大学が開発した炭酸アパタイトは
骨に置換される新しい材料です。

歯周病学分野
分野責任者：西村 英紀 教授

うちの自慢

- 歯周医学のフロントランナー
- オンリーワンの炎症/再生研究



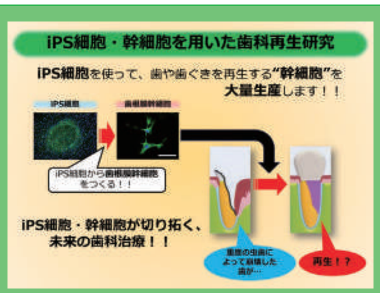
歯周病は全身の病気にも
影響を与えているんだよ。

研究室紹介

歯科保存学分野
分野責任者：前田 英史 教授

うちの自慢

- 歯の保存と再生の研究で世界をリード



歯や歯周組織を再生させる!!
先進的治療で歯をできるだけ保存する!!

クラウンブリッジ補綴学分野
分野責任者：鮎川 保則 教授

うちの自慢

- 口腔機能の改善に寄与できる歯科臨床と研究
- 安全・安心なインプラント治療のシステム構築

より良い歯科治療でより良い人生を

インプラント・義歯補綴学分野
分野責任者：鮎川 保則 教授

うちの自慢

- インプラントの生体適合性向上に関する研究
- 痛くない、噛める、食べられる入れ歯作りの研究

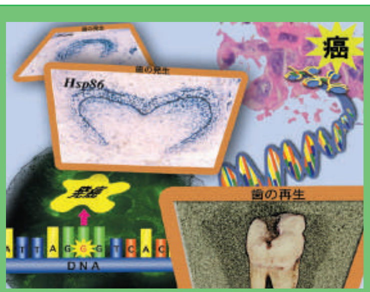
生涯、美味しく食べるために
私たちができること！

口腔顎顔面病態学講座（6研究分野）

口腔病理学分野
分野責任者：清島 保 教授

うちの自慢

- 歯と歯周組織の再生療法を目指した遺伝子学的および分子生物学的研究の展開
- 発生過程と腫瘍形成に共通する分子基盤を解明するための革新的アプローチ

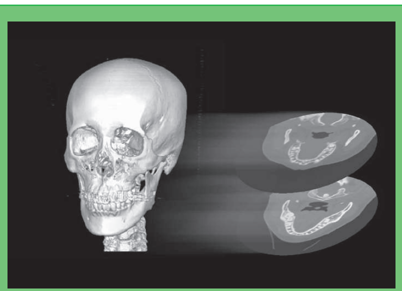


「歯の再生」、「歯周組織の老化」それから
「口腔癌」に関する研究を行っています。

口腔画像情報科学分野
分野責任者：吉浦 一紀 教授

うちの自慢

- 顎顔面疾患の新しい画像診断基準の作成に関する研究で世界をリード
- 画像情報処理理論の研究にて我が国をリード



あなたの真実の姿がここに・・・

顎顔面腫瘍制御学分野
分野責任者：中村 誠司 教授

うちの自慢

- 独自のアプローチによる難治性口腔疾患の病因・病態解明
- 基礎研究から新規治療法開発への展開で世界をリード

九大世界のその名と輝け、見よ我が教室新人群れたり
—北原白秋作詞教室歌より

口腔顎顔面外科学分野
分野責任者：森 悦秀 教授

うちの自慢

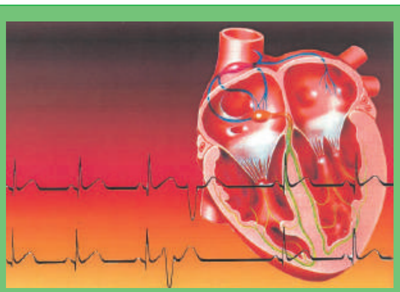
- 口唇口蓋裂の治療研究とアジアでの医療支援を通じて、アジア諸国の発展に寄与

口腔外科は君を、
哲学者か生物学者か彫刻家に変身させるだろう。

歯科麻酔学分野
分野責任者：横山 武志 教授

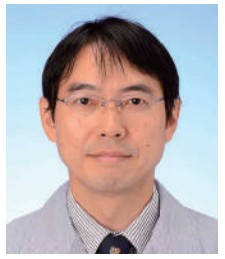
うちの自慢

- 周術期の糖代謝とインスリン抵抗性に関する研究で我が国をリード
- 独自の歯科治療中の心停止に対する対処方法がヨーロッパ蘇生評議会ガイドラインに



身体の状態を把握し、その変化に対応できる
歯科医師　＊＊＊　それが歯科麻酔科医

高齢者歯科学・全身管理歯科学分野
分野責任者：柏﨑 晴彦 教授



うちの自慢

- 超高齢社会のニーズに対応する臨床研究で世界をリード

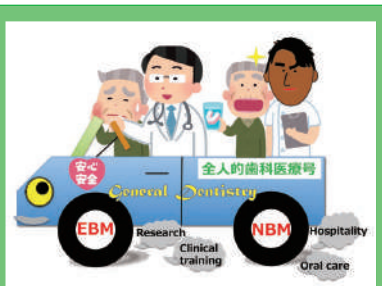
Dentistry is a Work of Love.（思想家 内村鑑三氏筆）
歯科は愛の仕事である。

総合歯科学講座（協力講座）（1研究分野）

口腔総合診療科
分野責任者：和田 尚久 教授

うちの自慢

- 生活習慣病や全身疾患に関連した歯科的アプローチに関する研究を幅広く展開
- 総合的歯科治療の提供



患者さんの幸せな人生のための「快適なお口」への
水先案内人育成を目指して、臨床、教育、研究を行っています！

OBT研究センター紹介

歯学の強みを生かした研究で国民のQOLの向上を目指す

OBT研究センター

Oral health・Brain health・Total health（OBT）研究センターは、平成28年度に口の健康が脳の活性化を導き、全身の健康へ寄与することを包括的にサイエンスする研究センターとして設置されました。OBT研究センターは歯学研究院でキラリと光る若手・中堅層を分野ヒエラルキーから抜き出し、Principal Investigator（PI）として独立させ、各自の研究をより発展させることを目指しています。平成30年4月に新たに1名の准教授を迎え、OBT研究センターを統括する教授1名のほか、准教授5名、助教2名の計8名が所属しています。

主な研究内容

1. iPS細胞を用いた歯周組織再生

歯根膜は、歯の植立維持および咬合圧感覚受容において主要な役割を有し、咀嚼機能の維持に必須の組織です。歯根膜が不可逆性のダメージを受けた場合、これを再生する効果的な方法はいまだ確立されていません。最近、ヒト歯根膜細胞の細胞外基質を用いてヒト皮膚由来のiPS細胞から歯根膜幹細胞様細胞を樹立することに成功しました。そこで、幹細胞を用いた新規歯根膜再生療法を確立することで歯の寿命ひいては健康寿命の増進を目指します。

2. 唾液腺異常の分子基盤

シェーグレン症候群やIgG4関連唾液腺炎などの唾液腺疾患は、唾液分泌が低下し、口腔粘膜疾患の増加を引き起こすだけでなく、摂食嚥下障害により誤嚥性肺炎を招くことがあります。しかし、その治療法としては唾液分泌促進薬などの対症療法しかなく、根治的な治療法は存在しません。そこで、それらの唾液腺疾患における唾液腺障害のメカニズムを解明することにより、新たな標的分子治療法の確立を目指します。

3. 口腔フローラと全身の健康

口腔は膨大な数の細菌、真菌、ウイルス等が複雑に作用し合いながら共存する一つの微生物生態系です。このような環境で発症するう蝕や歯周炎をはじめとする口腔感染症の克服には、直接疾患に関わる病原微生物だけでなく、微生物群集の全体像（マイクロバイオーム）のシステムとしての理解が不可欠です。大規模な被験者集団から採取した口腔微生物群集検体を解析し、データサイエンスアプローチを駆使して口腔マイクロバイオームと健康との関連を明らかにし、「健康な口腔マイクロバイオーム」の育成と誘導を基盤とした新たな口腔保健管理アプローチの確立を目指しています。

4. 甘味感受性調節に関わる分子・生理基盤の解明

5つの基本味（甘、塩、酸、苦、うま味）のうち、甘味は生体活動にとって必要不可欠なエネルギー源のシグナルであり、肥満や生活習慣病とも密接にリンクします。これまでに甘味感受性の促進および抑制機構について明らかにしてきました。甘味感受性調節に関わる分子・生理基盤の全容を解明することは肥満や生活習慣病の予防に繋がることが期待されています。

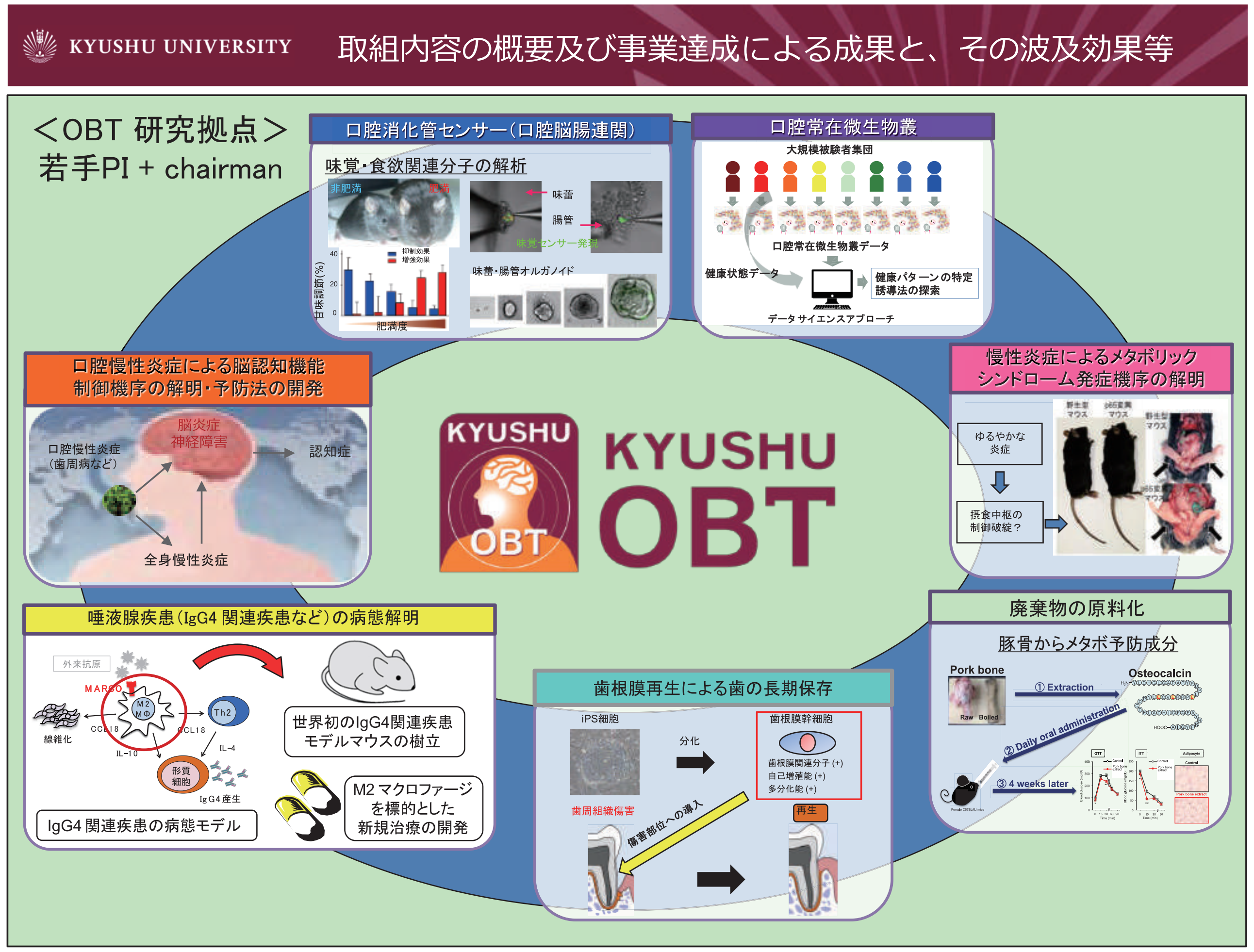
5. オステオカルシンによるエネルギー代謝調節

近年骨基質タンパク質オステオカルシンが「骨ホルモン」として全身のエネルギー代謝を調節していることがわかってきました。そこでオステオカルシンを大量に含む豚骨（スープ等を抽出した後の廃棄物）を原料としてオステオカルシンを抽出し、メタボリックシンドロームに対する予防・治療効果を検討しています。ヒト向けサプリメントの開発を視野に入れて実用化を目指し、ひいては健康寿命の伸延と廃棄物の原料化による有効利用の実現を目指しています。

6. 歯周病によるアルツハイマー病悪化メカニズム

近年、重度歯周病の罹患と認知機能低下との相関性が報告され、*Porphyromonas gingivalis*（Pg）菌の内毒素LPSがアルツハイマー病患者の脳内に検出されたことから、このPg菌が脳炎症を引き起こし認知症の悪化を招くと考えられます。最近Pg菌LPSを慢性投与した中年マウスではミクログリアの活性化による脳炎症、アミロイドβのニューロンにおける産生・蓄積、学習・記憶能低下というアルツハイマー様病態を誘発することを明らかにしました。さらにカテプシンB欠損マウスではPg菌LPSを慢性投与してもアルツハイマー様病態を誘発しなかったことから、カテプシンBが歯周病によるアルツハイマー病の誘発と症状悪化に関与する原因酵素である可能性が示唆されています。

このように、我々の研究成果は高齢者のQOLの向上と健康寿命延伸のために有効な指針や情報を発信することが期待されています。



『ゆりかごから墓場まで』

地域住民が安全・安心に暮らせる地域医療を支える口腔医療人の育成を目指します

歯学研究院　口腔医療連携学分野、高齢者歯科学・全身管理歯科学分野　講師　山添淳一（兵庫県立星陵高等学校卒）

口腔医療連携学分野では、口腔機能→全身の健康→患者の人生の幸福→地域福祉まで診る歯科口腔医療について追求し、包括的な医療サービスを行うため多職種連携チーム医療に関する臨床、教育、研究に取り組みます。

本邦は諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進行しており、国民の医療や介護の需要がますます増加することが見込まれます。さらに、近年では日本各地で災害が多発しており、各地域で災害に強い地域作りが重要になっています。

この様な状況の中、人間の尊厳の保持と安全・安心の自立生活の支援の目的の元、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、口腔医療連携学分野は地域包括ケアシステムの中で活躍する研究者、口腔医療人を育成します。特に災害時にはスムーズに多職種と連携し、被災地域の復興に寄与できる災害歯科医療人を育成し、また、災害時の身元確認にも貢献できるよう、医学研究院法医学分野と連携し、法歯学分野の教育、研究にも取り組みます。

『企業と患者と歯科医療をつなぐ存在でありたい・・・』

安全で便利、優れた歯科医療の提供を目指す

歯学研究院　歯科先端医療評価・開発学講座　准教授　熱田 生（長崎県立長崎北陽台高校卒）

現在、歯科医療に求められるものは、「噛めるようにしたい」「痛くないようにしてほしい」だけでなく「昔のように美味しく食べたい」「美しくなりたい」とドンドンとハードルが上がっています。そのため医療技術、歯科材料などは日々進化を続ける必要があります。

本講座では、販売されている歯科材料、すでに当たり前となっている技術の有効性を改めて客観的に評価し、また地域、患者、歯科医師が求める医療技術を把握しつつ、企業と連携して新しい技術や材料の開発にたずさわることを目的とします。

現在のところ、臨床講座だけでなく基礎講座、九州大学だけでなく多くの他の大学、ジーシー株式会社などの歯科関連企業などと連携しており、誰にとっても安全で、便利で、そして役に立つ製品を目指して、日々研究に取り組んでいます。

九州大学歯学部の学生や卒業生が、歯科の専門性を生かして、社会活動を行っています。

〈ミャンマーでの口唇口蓋裂医療援助活動〉

九州大学病院　顎口腔外科　講師　光安岳志（福岡県立筑紫丘高等学校卒）

私の所属する顎口腔外科では歯科の中の外科領域を担当しています。口腔外科では先天的な疾患の治療も行っています。その中でもアジア人に頻度の高い口唇口蓋裂という疾患があります。九州大学の口腔外科では長年にわたり、この疾患に対してアジア各地での医療援助を行ってきています。発展途上国では貧困や医療体制の不備のため、治療を受けられない人々が数多く存在します。現在、私たちはミャンマー連邦共和国に赴き、現地の口腔外科医の協力の下に、口唇口蓋裂の無償手術と学術交流を行っています。私たちが手術法や治療のシステムを現地スタッフに伝え、学んだ口腔外科医から次の世代へと受け継がれていきます。やがては援助のいらない医療環境が整備されることを夢見ながら、毎年の活動を続けています。

将来、一緒にこの仕事をやってみませんか。やりがいのある仕事です。

ヤンゴン空港にて手術機材と参加メンバー

手術前の診察風景

手術中

講義後のディスカッション

国際交流

広がる国際交流 —福岡、アジア太平洋地域の交流拠点

九州大学歯学部は世界各地の大学と交流協定を結んでいます。また、アジアを中心に国際医療協力活動を実践しています。インターネットの普及で世界が身近になった今、国際感覚を身につけ、機会を活用し、アイディアを実践した誰もが世界をリードする情報の発信源となりうるのです。

学部間交流協定校
・インドネシア大学歯学部（インドネシア共和国）
・モンゴル医科大学歯学部（モンゴル国）
・パナマ大学歯学部（パナマ共和国）
・江陵原州大学校歯学大学（中華人民共和国）
・マレーシア科学大学工学系学部（マレーシア国）

大学間交流協定校
・釜山大学校（大韓民国）
・北京大学（中華人民共和国）
・吉林大学（中華人民共和国）
・ホーチミン市医科薬科大学歯学部（ベトナム社会主義共和国）

福岡、海に開かれた都市

釜山大学訪問

九州大学歯学部の学生11名が釜山大学を訪問しました。

ガジャマダ大学歯学部サマースクール

鳥谷博昭（歯学部6年生　福岡県立福岡高等学校卒）

ガジャマダ大学の歯科サマースクールはおよそ2週間、日本から3つの大学、インドネシアから5つほどの大学、マレーシアから1つの大学の学生が参加していました。テーマは予防歯科や国による歯科医療の違いなど様々でした。各講義は英語で行われましたが、参加型のものやディベート形式でした。また、座学だけでなくインドネシアの小学校を訪れインドネシアでの小児歯科教育はどういったものなのかを直に触れることで学ぶ機会をいただくことができました。私自身、小児歯科に興味を持っていたため、小学校訪問は特に刺激となりました。また、いつかは子供達に歯磨きの重要性や食べることの大切さを教える機会は歯科医師になった時に訪れるものだろうと思っていましたが、まさかインドネシアの子供達を対象に英語で行うことになるとは思ってもいませんでした。そこで気づいたことが国際医療や国際交流において最も大事なことだと感じました。それは言語の壁は患者に治療や知識を提供する場では存在しないということです。小学校に初めて訪問した際は、私も緊張しており硬い顔をしていたためか、子供達もあまり近づいてきてくれませんでした。しかしインドネシアの友人が私にアドバイスをくれ、日本で子供達と遊ぶのと同様に熱意と笑顔を持って子供達と遊ぼうと決めてからは距離が一気に縮まり歯磨きについても教えることができました。この時、何よりも大事なのは熱意と笑顔だと感じました。

さらに、このサマースクールで文化の違いについても学べました。宿泊先のホテルではインドネシア内からサマースクールに来た方と2人部屋になりました。2人で様々なことについて話し、歯学部で学ぶことや将来のこと、また生活様式にも密に触れ文化の違いを感じました。この場では全ては書ききれませんが、サマースクールに参加することで様々な人に出会い様々なことを知ることができます。既存の慣れた環境を飛び出すということは2週間でも不安がありましたが、日本では経験できないことを経験できた、そんなサマースクールになりました。このサマースクール以外にも九州大学歯学部では国際交流をする機会がたくさんあります。それらに積極的に参加することで大学生活をより刺激的な日々にできると思いますので是非参加してみてください。

国際人として活躍する卒業生からのメッセージ

世界は貴方のすぐそばに！

九州大学病院　顎口腔外科
助教　金子 直樹（茨城県江戸川学園取手高等学校卒）

アメリカでもラーメンは人気です！

ラボでのmeetingの様子

受験生の皆様、九州大学歯学部に興味を持っていただきありがとうございます。現在私は、九州大学病院顎口腔外科から2018年よりアメリカ、ボストンにあるハーバード大学の関連病院であるMassachusetts General Hospitalに留学し、口に関連した免疫の病気に関する研究を行っています。

留学当初は英語がほとんど話せない状態でしたので、ちょっとした日常会話も研究の話も何もできない状態でした。当然生活も上手くいくわけがなく、周囲の人たちの考えや行動も理解できないことばかりで、当初はアメリカにいるのにアメリカがとても遠いように感じていました。しかしながら、現地で文化や慣習その多様性に直接触れ学んでいくなかで、アメリカ人を含む外国人も根っこは同じ人間であるということに改めて気づきました。文化や慣習などバックグラウンドは違えども、当然のことですが同じように考え同じように喜怒哀楽のある人間です。不思議なもので一度それに気づくと、それまで持っていたコミュニケーションに対する恐怖心が減っていき、研究室の同僚とも会話が増えていったことを覚えています。国際感覚は辞書では、「様々な文化や価値観を知り、自国内に限らず国際的な観点からものを考えられる感覚」ですが、留学当初は国際感覚を持たずして闇雲に生活していただけなのかもしれません。異国の人の文化や価値観を知らずしてその人を理解しようというのはやはり難しいことでしょう。このような貴重な経験をできていることに感謝しつつ、この経験を国際貢献という形で将来還元したいと思い現在良い成果を出せるよう研究を頑張っております。

私が高校生の頃は、まさか自身が海外留学しアメリカに3年も居住するとは想像しておりませんでした。しかしインターネットが発達し様々なツールが使える現在、いつでも世界と繋がることができます。逆に考えると、今後は一層グローバル化が進み、将来的に今以上に優れた国際感覚を持った人間が求められると予想できます。世界は私が想像していたよりも近くにあり、それに気づかせてくれたのが九州大学歯学部です。九州大学歯学部では世界への門戸がすでに開かれており、多くの先輩方が国をまたいで活躍されています。皆様が無事に合格され、グローバルな歯科医師として世界へ羽ばたかれることを楽しみにしております。

国際人として活躍する卒業生からのメッセージ

世界は多様性を認める共生社会時代へ。歯科医師は、人類共通の健康科学を学び、実践することによって人々の幸せに貢献できる仕事です。

きし哲也歯科医院　藤瀬 多佳子（福岡県立修猷館高等学校卒）

留学中のトンガ人歯科医師と国内学会で
（現在、国費留学生として歯学研究院博士課程で研究中）

多様性を受け入れる人間力が求められる時代がやってきました。

自分の中でその能力が開花したきっかけは「歯医者が日頃のぞいているお口の中から世界をみてみたい」と今から14年前、JICAの海外派遣ボランティア歯科医師として、南太平洋の島国トンガ王国で過ごした2年間の体験でした。人間の体のつくり、健康の価値観は、古今東西、老若男女問わず共通です。弁護士の友達からは、「歯医者は世界に通じる仕事でいいね。弁護士は、言語、文化、法律が違う国ではつぶしがきかないから」と餞の言葉をもらいました。プロフェッショナルな技と経験を軸に、現地の人々とともに問題を解決し創造を楽しむ。その過程は、自分が変わり世界が変わるプロセスでもありました。帰国後は勤務医をしながら、ベトナム、カンボジア、アフリカのスーダンでNGOの方々と協働して、短期的な医療支援活動に従事する機会にも恵まれました。それらの経験を通じてわかったことは、体の作りは同じでも、口の中には、食、宗教、生活習慣など、その国の文化が反映しているということでした。現在の職場は、九大伊都キャンパスに近く、英語が通じる歯科医師がいるということで、留学生の患者さんも多く、その数は、この10年間で47カ国330名以上に上ります。彼らの背景にある文化を理解し、尊重しながら、母国に戻った後は、自国の歯科医師にフォローしてもらえるように配慮した診療を行っています。Think Globally, Act Locally. 国外での経験を元に、現在は日本に居ながらにして国際貢献中です。

「医者は命を救い、歯科医は人生を救う」という名言があります。世界の人々を笑顔にできる歯科医師という仕事、あなたも志してみませんか。

歯学部サークル紹介

野球部

ラグビー部

テニス部

サッカー部

バスケットボール部

バドミントン部

剣道部

スキー部

ゴルフ部

馬出吹奏楽部

同窓会

コロナ禍における歯学部同窓会活動について

九州大学歯学部同窓会学術担当理事　白重豊英（福岡県立筑紫丘高等学校卒）

歯学部同窓会では、毎年4月の第4週日曜日に春季学術講演会を200～300名の来場者を集め学術講演会を行っています。また、5月、7月、9月、11月の第4水曜日の19時半より2時間、症例検討セミナーを行い、診療に関する情報交換を行っています。さらに、診療技能のさらなる向上を図るため、コンポジットレジン充填*セミナー（前歯編、臼歯編）、口腔外科セミナー（基礎編、臨床編）などの実習付きセミナーも実施しています。そして今年度は新たに小児歯科実習セミナーを計画しています。

昨年度の春季学術講演会は、コロナの第一波のため中止しました。しかし、コロナ禍においても何とかセミナーを行いたいと願い、昨年7月より、症例検討セミナーを会場とWebのハイブリッド形式で行うことにしました。当日の動画を編集し、後日1週間セミナーを何度も視聴できるようにしました（オンデマンド配信）。このおかげで、遠方の先生方や、当日所用のため受講できない先生方も受講できるようになり、受講生が増える結果となりました。同窓会の色々な分野にたけた先生方の尽力で、他大学の同窓会よりも早い時期にWebを使ったセミナーを行うことができました。これも九大歯学部同窓会の強みです。令和3年度の春季学術講演会、症例検討セミナーもハイブリッド形式で行うため、今年度も九大歯学部同窓生を中心に、日本全国から多数の参加が見込まれます。なお、学生はほとんどの企画に無料で参加できるようにしているため、熱心な学生さんが将来を見据えて積極的に参加しています。

*コンポジットレジン充填：むし歯で悪くなった歯の一部を削って歯の色をしたプラスチックの詰めものをする治療を指します。全国レベルで活躍している、まさに神業のような技術を持つ同窓生による実習だけでなく、技術を競うコンテストも実施しています。

九州大学歯学部同窓会
受験生の皆さんへ

九州大学歯学部同窓会　会長　久保秀郎（福岡県立修猷館高等学校卒）

九州大学歯学部は、2017年に創立50周年を迎えました。卒業生は2500名を超え、国内はもとより海外でも多くの同窓生が歯科医学の発展のため、また歯と口の機能回復や健康維持のため研究や診療に励んでいます。全国の大学で教授として、あるいは地域の歯科医師会でリーダーとして活躍されている先輩も多数います。

歯学部の卒業生はほとんどが歯科医師となるわけですから、世代を越えて同窓生のつながりをとても大事にしています。同窓会は1982年に創設され、同窓生同志の親睦・学術の研鑽・大学の発展を後援することを目的に活動しています。2002年からは学生会員制度をもうけ、大学との連携を深めて九重研修旅行や韓国釜山大学校歯学部との交流事業への協力や卒業生と学生との交流事業などもおこなっています。

九州大学歯学部では、「口腔から全身の健康に貢献する」の理念のもとに優秀な歯科医師の育成に力を注いでいますが、まさに社会はそのような歯科医師を求めています。痛みや悩みをかかえて病院を訪れた患者さんから、治療の終わりには満面の笑みで「ありがとうございます」と感謝の言葉をいただいた時の充実感や満足感はそれまでの苦労を忘れさせてくれます。歯科医はとてもやりがいのある職業です。ぜひ、九州大学歯学部に進路を定めて頑張ってください。入学オリエンテーションでお会いできることを楽しみにしています。